

多機能型データロガー



概要

最近、太陽光発電、マイクロガスエンジン、風力発電など分散型電源が普及拡大し、連系される配電系統の電圧変動、高調波等の“電力品質”が益々重要性を帯びてきております。

従来は、これら諸量を測定するには、測定器の設置場所の確保や機器設置における防水措置等の様々な対応が必要であり、作業が大変大掛かりなものとなっておりました。

そこで、小型で高・低圧計器箱内や分電盤内等に容易に設置でき、かつ分散型電源等の電力品質への影響を的確に測定できる小型で豊富な機能を備えた「多機能型データロガー」を東北電力（株）殿と共同開発致しました。

特長

- ◆電圧、電流、電力量、力率を潮流方向別に測定。さらに高調波（最大 13 次）も測定、電圧と電流の波形も記録します。
- ◆5 A～250 Aの電流容量に対応可能です。
<電流容量に合わせ、4種類のクランプ式CTを交換。
CT定格はCT接続により自動認識（特許出願中）>
- ◆電圧や電流のしきい値を設定して、しきい値を超えた前後の電圧・電流波形を記録することが可能です。
- ◆測定はギャップレスで行い、最短2秒間隔で記録することが可能。（2秒、5秒、1分より選択）
- ◆測定データはコンパクトフラッシュカードに記録し、パソコンでのデータ解析が可能です。
- ◆測定器用電源配線が不要です。
<低消費電力（6VA以下）の為、電圧測定端子から電源取得>

東北電力企業グループ

東北計器工業株式会社

